

本当は怖い蛋白尿：慢性腎臓病（CKD：chronic kidney disease）のサインかも??

◆慢性腎臓病（CKD）とは？

慢性腎臓病（CKD）は糖尿病や高血圧による腎臓障害、IgA（アイジーエイ）腎症などの慢性糸球体腎炎、多発性嚢胞腎など沢山の原因による慢性に経過する腎臓病の総称で、2002年に米国で提唱され現在は世界的な用語になっています。

慢性腎臓病（CKD）という言葉ができたのはごく最近のことで、今話題のメタボリックシンドロームの研究過程で、腎臓の働きを示す数値に異常のある人は、脳卒中や心筋梗塞、心不全を起こしやすいことが分かったからなのです。

また、動脈硬化の危険因子がCKDと密接に関連しており、インスリン抵抗性やメタボリックシンドロームがその成因に関与していることも明らかになっています。



「尿蛋白」や「腎臓の形態的变化」など腎臓に病気が存在することを示す所見、もしくは糸球体濾過量（GFR: glomerular filtration rate）が $60 \text{ ml/min/1.73m}^2$ 以下が、3ヶ月以上続くと、CKDと診断されます。

◆慢性腎臓病（CKD）を早期発見するには？ 2つの検査が重要です。

- (1) 血液検査により、**血液中のクレアチン値**を測定する。
クレアチン値より、糸球体濾過量（GFR: glomerular filtration rate）が計算式により簡単に得られます。
- (2) 尿検査により**尿中アルブミン濃度**を測定する。

以上の簡単な2つの検査より早期発見が可能です。

◆慢性腎臓病者のステージ分類と治療

糸球体濾過量（GFR）により5つのステージに分類されます。

ステージ	定義	推定 GFR	治療
1	GFR正常または亢進を伴う腎障害	≥ 90	CKD進展を遅らせる治療
2	GFR軽度低下を伴う腎障害	60-89	CKD進行予測
3	GFR中等度低下	30-59	CKD合併症把握その治療
4	GFR高度低下	15-29	透析・移植の準備
5	腎不全	< 15	透析・移植の導入

日本腎臓病学会ではGFRが $60 \text{ ml/min/1.73m}^2$ 以下のステージ3以上の人口は2000万人以上で、 $50 \text{ ml/min/1.73m}^2$ では480万人と推定しています。

治療薬として、アンギオテンシン受容体拮抗薬・アンギオテンシン変換酵素阻害薬・T型Caチャネル拮抗薬・高コレステロール血症治療薬（スタチン）などがあげられます。また低蛋白食もCKDの進行を抑制することが言われています。

※医療法人順秀会 東山内科小児科・東山健康管理センターと スカイル内科・スカイル健康管理センター 及び 星ヶ丘内科・小児科とは、診察時間が異なります。診察時間と各科専門医師の分担表を裏面に記載してあります。

※24時間対応コンピュータ予約システム（電話・インターネット・携帯電話・i-mode対応）

- ◆医療法人順秀会 homepage: <http://www.junshu.jp>
- ◆健診結果・医学的内容に関するご質問は: med@junshu.jp
- ◆メンタルヘルスケア（心の相談窓口）心療内科への相談は: mind@junshu.jp（新設）
- ◆検査予約・検査料金や医療事務に関するお問い合わせは: info@junshu.jp